

都道府県別賞一等

形の無い不思議なお守り

佐賀県 鳥栖市立田代中学校 二学年

長野 百花

「あ、今月は生命保険の引き落としだった。」

通帳を見ていた母が、

「お知らせのメール来たら、ちゃんと教えてよ!」

と父を叱っている。聞けば、父と母が入っている生命保険の一部は年払いにしているため、結構な額が銀行から一気に引かれてしまうので、あらかじめ、きつとお金も準備が必要なのだそうです。

「ふう〜ん。」

と言いながら私にはよく分からないことがあった。五人家族の我家で加入している生命保険のうち、年払いにしているのは、ほんの一部で、他にも毎月支払っている保険などもあるらしい。

「生命保険ってそんなにお金を掛けてまで必要なものなの? どうしていくつも入ってるの?」

このことをきっかけに私は我家の保険について勉強することにしました。調べてみると、我家で加入している生命保険の目的は大きく二つに分かれることが分かりました。一つは病気やケガをした時への備えで、もう一つは貯蓄のためでした。

前者の「病気やケガをした時への備え」こそが私がイメージする生命保険ですが、種類だけではなく、特約と言われるものとの組み合わせで、保障対象や内容は様々変化することが分かりました。Aと言う名前の保険であっても、付けている特約が違えば保障される内容や範囲などが全く異なる保険になります。

後者は貯蓄型といわれるタイプのものです。掛け捨てと言われるものに比べると保障内容に対して支払う金額が高くなりますが、解約時に定めたルールに従ってお金が戻ってきます。我家では私達子供の進学時期などに必要であれば解約した場合、支払った金額よりも多い上に、銀行に預けるより多くのお金が戻されるようにと、随分前から計算され積み立てられていました。

父は、

「車よりも高くて家の次に高い買い物だから、なるべく無駄が無いように、でも何かあった時でもお金の困らないように買っている。」

第59回中学生作文コンクール

生命保険は沢山のお金が必要なのに何かがあった時にはお金に困らないで済む、不思議なお守りなのだと思います。私達は成長していく中で、進学や結婚といったイベントがあり、ない方が良けれど病気や事故、ケガといった対処するにはお金が必要になる出来事にも遭遇する可能性があります。その時お金のことを気にすることなく希望する対応が出来るようにと、両親が備えてくれているものが生命保険でした。今日、ここにも両親の愛があることに感謝し、これに気付いて良かったと思いました。